

平成28年9月30日

日高報知新聞

新米、全量1等米に

農協
しずない

29日初出荷の「ななつぼし」

【新ひたか】静内産の新米が29日、初出荷され、品質検査を受けた8・7トの「ななつぼし」全量が1等米となった。しずない農協では「品質の良かっ」昨年と比べてもそんな色ない出来」と話している。

静内産米の今年の作付けは36戸で102㌧。今年は6、7月の低気圧や台風や低気圧による長雨の影響で、食味の指標の一つとなるたんぱくが若

干高め傾向という。初出荷は静内豊畑地区の荒谷留恵美さん生産の新米。検査に立ち会った静内稲作振興会の村田治会長は「台風による水田の被害は特になかった。稲刈りも例年通り行っている」とい

米の抜き取り、品質検査で全量1等米の格付けとなり、しずない農協の西村和夫組合長から荒谷さんの代理として村田会

長へ祝品が贈られた。

静内産の「ななつぼし」のうち、化学肥料(チン)を50%以下に低減するなど厳しい基準をクリアした高品質、良食味が農協ブランド米「万馬券」の新米として、10月9日に開催のしずない農業まつりを皮切りに販売開始される。昨年生産された万馬券はすでに完売しており、西村組合長は「万馬券の評価は年々高まっている。今年は長雨などで産



米の抜き取り検査をする検査員



全量1等米となり西村組合長(右)から村田会長へ祝品を贈呈